

“デントクリーン” Q & A

漂白用

Q 1 : 安全性に関しては？

A : 本剤は強アルカリ性 (pH12) で、他社品の『ラバラックD』と同等レベルの危険度です。皮膚に付着した場合や眼に入った場合は直ぐに水で洗い流してください。特に目に入った場合には医師の手当てを受けてください。

皮膚に付着した場合は、皮膚表面が脱脂され、タンパク質が侵されます。そのためヌルヌルした感じが続き、その後は手荒れのような症状になります。これは『マジックリン』や『カビキラー』などの商品でも起こる現象ですので、本剤が特に危険ということではありません。少量の付着であれば十分洗い流して、場合によってはハンドクリームなどを塗っておけば、医師に診てもらう必要はありません。

但し、大量に浴びてしまった場合や付着後洗い流さずに放置した場合には、やけどに近い症状になりますので、やけどに対する処置が必要となる場合があります。

Q 2 : 殺菌効果はありますか？

A : 水道水やプールなどにも使われている次亜塩素酸ナトリウムが 3%含まれており、義歯に付着した菌の構成タンパクを酸化して殺菌いたします。

Q 3 : 歯科材料に与える影響は？

A : 超音波洗浄器で 30 分程度の短時間の浸漬では、殆どの歯科材料は劣化いたしません。全ての製品を試験したものではありませんので、保証するものではありません。

Q 4 : 混ぜるな危険とは？

A : 酸性の義歯洗浄剤、弊社『ストーンメルト』等と混ぜると、塩素ガスが発生して極めて危険ですので、絶対に混ぜないようにしてください。

Q 5 : 有効期間は？

A : 雑品ですので特に有効期限表示などの決まりはありませんが、冷暗所保管であれば3年間は問題なく使用できます。本剤が劣化した場合は、徐々に着色除去時間が長くなります。

Q 6 : 義歯臭はとれますか？

A : 臭いの原因は汚れと菌からくる場合が多いため、殆ど除去できます。

Q 7 : 廃棄方法は？

A : そのまま大量の水道の流水下で廃棄してください。中和すると塩素ガスが発生して危険ですので、そのような処理は絶対に行わないでください。